

日掛け金融による被害の実状(1)

～「熊本クレジット・サラ金・日掛け被害をなくす会」の相談事例より～

Aさん(43歳、男、トラック運転手)

(日掛け業者の職業指示) 軽運送業

(借入先業者名)	(借入金額・万円)	(保証人数・人)
上杉実業	30	3
スカイファイナンス	20	5
エースクレジット	50	4
アルファカード	41	4
メモリー	38	5
タイム	25	4
東急ファイナンス	15	4
タイムリー	18	4

(毎日返済額) 26,000円

(借り入れの経緯と現状)

94年頃、Aさんは、月額給与が手取り18万円くらい、妻のパート収入7万円くらい、計25万円の収入で家族5名の生活はギリギリだった。そのころ、いとこのZさんから日賦業者の「タイム」に車に乗せて行って欲しいと頼まれ、いっしょに事務所に行ったところ、業者からZさんの保証人になるようにいわれた。Zさんからも迷惑をかけないからと頼まれ、日賦業者の金利等は考えず、保証人になった。額面が10万円なのでどうにかなると考えた。

95年1月になり、Aさんのところに、屈強な男2人がZさんを連れてきて、高圧的に「35万円をおまえが保証人だからすぐに払え」と要求された。このとき50万円の根保証となっていることをはじめて知った。35万円全額支払わなければ「一晩中でもここに待っている」、「親戚でも友人の所にでもいっしょに連れて行ってやるから借りてこい」と言われ、業者の事務所に行くことになった。事務所には、4～5名のヤクザ風の男がいて、35万円の支払を要求された。一晩中監禁状態となり、一夜明けて運送会社の社長から給料の前借りを頼み、業者に35万円を支払った。

約2ヶ月半後、夜8時頃、前回の業者がZさんを連れて自宅に来た。28万円をZさんが支払っていないから支払えと言う。Aさんが、「前回の支払で保証人は消えているはず」と言うと、業者は「保証人は消えていない。5年間の根保証契約が残っている」と言う。Aさんが、「そんなことは聞いていない」、と言えば、「そんなことは常識だ。知らないおまえがバカだ。バカなら俺達の言うことを聞いてちゃんと払え」と、ちゃぶ台を叩く、ドアを蹴る、大声で罵声をあげるなどをする。夜10時を過ぎても帰らない。「俺達は9時までここに来たのだから、何時まで居ても許されるのだ」と言われる。金策のため、業者の車で、知人の家を2～3軒まわるが、金は出来ず、業者の事務所でAさんが主債務

者となって30万円借りた。保証人はZさん。次の日に、Zさんの知人のYさんにも保証人になってもらう。毎日3000円の支払いといっても、給与所得者であるAさんには日銭は大変だった。

サラ金からの借金が急激に増え、毎日、金策のために本業のトラック運転手の仕事もなかなか手がかからない状態となった。97年頃からは、生活費の支払いがまったく出来なくなった。そのため、熊本を出て、車のなかで野宿をしながら福岡で日雇い作業をした。1ヶ月後、家族の様子を見るために熊本に戻ったところ、妻が日掛け業者から脅されて保証人となり、またAさんの支払いのために別の日掛け業者3軒から約80万円の債務を負う結果になっていた。妻は、Aさんのいないときに、日掛け業者の事務所で30時間位軟禁状態となり、それ以降、生活状態がおかしくなって現在も回復していない。子ども達は怯えて、長女と長男は登校拒否になった。

業者からは常日頃から、「弁護士に相談しても金がなければ弁護士は相手にしてくれない。たとえ弁護士に相談して自己破産しても絶対に貸した分は返してもらうから」、「おまえの体ぐらい、いつでも始末するななんか簡単だ」等の言葉を言われ、子どもの前で言われると大変厳しかった。業者の言いなりに知らない人の保証人になり、債務者の拡大生産になっている状態だ。

Bさん (50歳、女、焼き鳥店店員)

(日掛け業者の職業指示) 洋服仕立業、食堂

(借入先業者名)	(借入金額・万円)	(保証人数・人)
東急ファイナンス	28	2
アサヒファイナンス	15	3
イズミ	10	3
アイリス	30	2
タイムリー	26	2
ニッケイ (?)	15	2
コスモ	15	3
セントラル	10	2

(保証債務)

エビタイ、タイム、コスモ、大京、メモリー、アルト、ナショナル、ニッケイ、東急ファイナンス、アサヒファイナンス、イズミ、タイムリー

(借り入れの経緯と現状)

バブル時代、不動産業者から起業投資を持ちかけられ、夫名義で500万円の借金をして投資した。追加投資を求められ、不動産担保で1500万円借り入れて追加投資したが、まったく回収できないまま、投資先が消えてしまった。夫の体調が悪くなり、銀行へ借入金を返済するために、サラ金から借金をはじめ、99年初めには借入金額が500万円を超えた。

夫の体調の回復を期待しており、生活費に困っていたとき、当座を乗り切るための借金として、しきりに日掛け業者からダイレクトメールが来ていたので深く考えないで「ア

イリス」から10万円借りることにした。そのとき、保証人を求められたが、保証人はいない旨を言うと、保証人なしで15万円貸してくれた。

しかし、3日ほどで、毎日1500円ずつ返済するのが大変だと思い、15万円を工面して返済しに業者の事務所へいった。業者には「3日くらいで返してもらってもこちらは困る。日賦業者だから毎日返済してもらわないと受け取ることは出来ない」と受け取りを拒否された。2~3日後にも事務所に行ったが、強く拒否され、「何度も来るならあなたは信用できないから保証人をつけてもらおう」と言われ、車に乗せられて知人の家を訪ねた。しかし保証人になってくれる人はなく、夜10時まで帰してもらえなかった。次の日によろやく業者から言われるままの保証人に立ってもらった。給与が10万円に満たない収入では、1日1500円の返済は苦しかった。しかし保証人に申し訳ない気持ちが先行し、日掛けの借金は3件にまで増えた。

夫の病状は次第に悪くなり、昨年10月に死亡。それと同時に借金の取り立てが始まった。手元に一銭も残らない状態で家を出なければならず、日掛けから借りるしかなく、それから地獄が始まった。

私には、2人の娘(24歳と22歳)がいて、それぞれ就職はしていたが、2人の娘の所に電話がかかり、保証人の要求と「おまえが外から借りて一括して払え」という要求があり、断るのに困った。娘に対しては、徹底して肩代わりで主債務者となるように要求された。自己破産申立後も、娘達の勤務時間帯を調べ、娘と同時にバスに乗り込み家までついてくる。そして話しがあるからと寄ってくる。ついに娘はノイローゼ気味になり、10日程寝込んでしまった。

私は店の帰りに車に乗せられ、業者の事務所に行き、保証人の家に電話をかけさせられ、業者の前で「私は絶対に保証人を裏切りません。裏切ったら自分で命を絶ちます」とまで言わせられた。「おまえは保険に入っていないが、今から生命保険に入っていた方がいい。死んだら保険金でこのくらいの金はすぐに払えるぞ。たいした金ではなかろう」と言われた。

警察に事情を話しても、体に触るわけでもないし、脅迫したわけでもないし、民事不介入の原則で取り立てを規制するわけにはいかないと言われた。しかし、家族に対する精神的な圧迫は暴力行為そのものである。

〇さん(28歳、女、保母~解雇され現在はスナック従業員)

(日掛け業者の職業指示)化粧品販売業、下着販売業、鮮魚店(本人の子どもの時の家業)

(借入先業者名) (借入金額・万円) (保証人数・人)

コスモ	15	2 (相保証・以下同じ)
エビタイ	26	3
アサヒファイナンス	25	2
イズミ	15	3
アーバン	10	2
フジショウ	8	2
佐藤商事	12	3

(毎日の返済) 15,000円

(借入れの経緯と現状)

父親が事業に失敗して多額の借金を背負い、98年12月から消息不明となった。当初Cさんは父親の借金は関係ないと思っていた。99年1月、アサヒファイナンスより父親の借金の担保だといって家財道具をすべてとられた。(※公正証書をとられていることもない。また裁判所の訴状もない。この業者は契約時に家財道具を担保にするという契約書を書かせるのを常套手段にしている)

病弱の母親と一緒に生活していたCさんは、父親がいなくなった時点で、サラ金業者からの取り立てで困り、業者から言われるまま自分の名前でサラ金から借りて返済することになった。ジャパンという日掛け業者からは、父親がCさんの名前を保証人に使っていたため家財道具をそっくり持ち出され、アサヒファイナンスとイズミファイナンス(※同系統の業者で事務所も同じビル内に所在)の分を返せば、家財道具は返してやると言われ、頭がパニックになった。保証人の件はまったく知らなかったので、「普通は確認の電話がある」と言っても、業者は「確認もしている。テープにもそのことは残っている」と言う。「おまえがどんなに俺たちにウソを言ってもこっちには証拠がある。変なウソを言おうとおまえはおやじといっしょで詐欺で告訴するからそう思え。警察は俺たちの味方だ。いつでも臭い飯ぐらい食わせてやるから」と大声で近所中に聞こえるように言われ、その日から支払うようになった。

アサヒファイナンスに関しては、どんな古いものと言っても今まで使用していたし、それを新しいものを買うとなるとお金もかかるし、困りはてて、相談して、自分名義で父親の借金の額を借り換えをした。しかし、日掛けの借金は当初考えていたより大変で、毎日の支払いはまったく不可能だった。金づくりに振り回され、保育園も解雇されてスナック従業員となって毎日支払いを受け、それを返済に回す状態になっている。

病弱で(リューマチで体が不自由)仕事にも出られない母親が保証人となり、母親の名前でも2業者から借りているため、その分も支払っていかねばならない。日掛け業者は、店の方にやってきて、ソーブランドで働くように執拗に言う。一度は車に乗せられ、体験だと言って、ソーブランドの店に連れ込まれたが、Cさんが泣き出して座り込んでしまったため、相手からは猛烈に怒られたが、このときはそのまま戻ってきた。

Dさん (65歳、女、無職・月3.5万円の年金暮らし)

(借入先業者名)	(借入金額・万円)	(保証人数・人)
東急ファイナンス	85	4
コスモ	10	3
アサヒファイナンス	15	2
エース	18	3
タイヨウ	10	3
アルファ	8	3
スカイ	12	2
セイワ	68	4

(借り入れの経緯と現状)

昨年1月に自己破産した。その後、日掛け業者が3人訪れた。そこで出されたのが6年ほど前にDさんがXさんの保証人(消息不明)になったもので、東急ファイナンスで保証金額5万円(根保証についてはまったく知らなかった)、セイワで保証金額8万円(根保証についてはまったく説明なく、知らなかった)になっていて、Dさんは破産するときそれまでなんの連絡もなかったので、債務はないものとして処理をしていた。そのため、業者から債務の弁済をいわれ書類を突きつけられた。Dさんは、脳卒中の夫に相談も出来ず、業者に自己破産したのだから払えない旨を言うと、「国民年金の証書を担保にしても支払え」と言われ、年金を担保にしたが要求金額には不足し、さらに業者から夫の年金も担保にするよう言われたが、夫の証書が見つからず断念。そのためDさん名義で借入契約書を書かされた。Dさんが、「自己破産しているし、支払うお金はないから」と言うと、他の業者から借りて支払うことを要求された。保証人を探すのに苦労したが、「保証人をつけてやるから、1人20%づつ実費を払え」と言う業者もあり、20万円借りても保証人が2人ついて12万円しか手元に残らなかった。

後になって、支払いが難しくなると、取り立て人から業者の事務所に詰め込まれ、親戚、知人の名前を徹底して聞かれ、昼食もとれず、夜の7時過ぎまで事務所に監禁された。親戚、知人の所に行って、全然関係のないDさんの借金で多大な迷惑をかけ、その後相手にされなくなってしまった。自己破産した人もOKというダイレクトメールが入ってくるし、それにつられて借金を重ねてしまう。まわりの人の紹介で「熊本クレ・サラ・日掛け被害をなくす会」に相談に来た。しかし、このときは神経衰弱気味で、「なくす会」の相談員が、2度目の自己破産なので裁判所は認めてくれないだろうが、弁護士に相談し、申立を提出してみるより他ないことを伝えると、それ以後失踪してしまった。現在も行方はわからない。親戚の話では、まったく音信はないとのことである。

日掛業者に車を盗まれて

宇山優、御代(仮名) 39才、29才

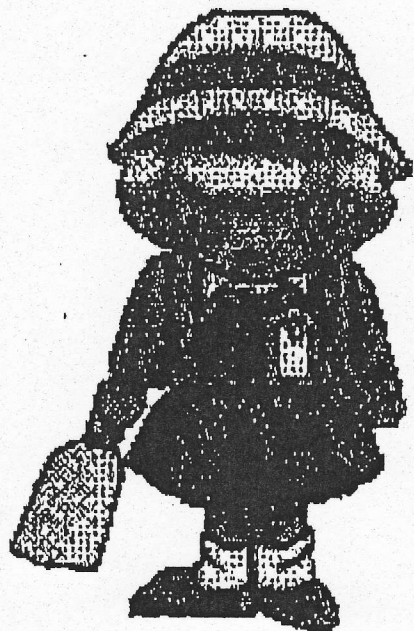
私が自己破産したことの発端は友達の保証人からでした。

丁度その頃、魚の移動販売いわゆる行商ですが、それを始めた時で、自分たち家族が食べて行ける程度でした。

自分の性格上人から頼られたら「イヤ」と言えない性格で、見栄を張って今まで来てたので、本当はお金もないのにその友達の悲痛な顔を見ていると、家族には申し訳ないけどサラ金から借りて、貸してあげました。

初めのうちはその友達も払っていたのですが、だんだん遅れたり、自分が立て替えたりしながらやっていたのですが、平成9年5月に半月板損傷で入院、完治し「今までの遅れを取り戻そう！」と思ってた矢先、手術の麻酔の後遺症で後頭部が割れるくらいに痛く、起き上がれなくなつて3ヶ月程休みました。その間もちろん生活費もなく妻も2人目を妊娠中で仕事を一時休職してた時で、またサラ金

から借りて返すの繰り返しでした。それが重なりどこも貸してくれなくなり、やむなく日掛に借りる事になりました。初めのうちは1日2000円の返済で無理なく返してたんですけど、悪い事は続きました。去年平成10年6月またひざの手術で入院し、妻、子供皆次々と入退院の繰り返しでした。お金もなかったので生命保険にもはいつておらず、借金がかさみました。お金の事で夫婦ゲンカも絶えず、長男もストレスがたまりノイローゼ気味になり、原因不明の両脚が出て幼稚園も休みがちになりました。この頃からサラ金からの催促の電話が頻繁にかかる様になり、ドアのチャイム、少しの物音にビクビクする様になり、耳をふさいで震えて泣いていました。もちろん家賃も電気もガスも滞納でそれをうめる為に日掛を借りて



2000円、5000円…と気がついたら日掛だけで1日2万円も払う事になってました。もちろん月掛のほうもあったので、それを合わせるととんでもない金額で、長男の事も心配でしたので、自己破産の事を考えました。

司法書士のM先生に相談し受けてくれると言われたのですが、日掛の件数があまりにも多く15社あったので弁護士の方がいいと言われ、M先生の紹介で、クレサラの吉田先生の元へ行き事情を説明し、K先生

をお世話してくださいました。大げさな言い方かもしれませんが、先生方が神様のように思えました。

今年の3月末に自己破産の申立をし、その事に納得いかない日掛業者Aファイナンスが嫌がらせをしてきました。3月の初めにその会社から借り、わずか1ヶ月もたたないうちに申し立てをしたので怒るのも無理ないと思います。

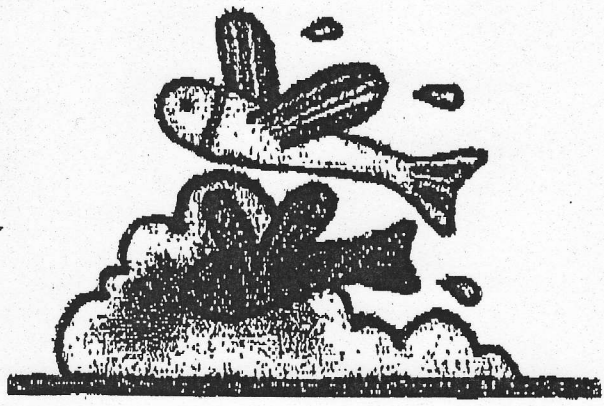
うちだけ払ってくれと言われ、断ると「詐欺罪で訴えてやる」とか「仕事も、破産の申し立ても出来ん様にしてやる!!」と脅され、申し立て後2~3日ほとぼりが冷めるまで身を隠し、家に帰ってきたら、カギ穴に木くずがつめてあり、カギ全部を取り替えなければ

いけなくなり、あげくの果てに妻の仕事を先に1時間おきに電話をして「自己破産を勝手にして詐欺罪で訴える」と全然関係のない課長、センターマネージャーまで言い、結局社長の耳にはいり、役員会議にかけられた結果「今まで自己破産者を雇うというような実例がないし、対処に困る」という理由で不当解雇を受けました。

まだその日掛業者は、給料、家財の差し押さえの手続をしているようです。

また別の業者のTファイナンスとAクレジットという所が、僕の保証人をつかまえて、僕たちの行方を捜せ！捜せないなら、すぐ金額を払えとその日8時間に及ぶ軟禁、その次の日もつけ回されたと聞きました。

また別の業者のTの担保で仕事の車が持って行かれ、その車の持って行き方が私たちの留守中にきちんと錠をしていたのに合かぎを作って窃盗同然のように持って行った事が後でわかりました。その業者に車の事を聞くと、「名義変更もしているので自分達の物を持って行って何が悪い!!」と言うので調べると名義変更をしていなかったのです。その業者から時々「残金を払えば車を返す」と電話があるんですけど、今は違う仕事をしていて、何とか生活はしていますので必要ありません。



「どん底より下はない。後ははい上がるだけ」
まさにその通りだと思います。まだまだ始まったばかりの私たちにこの様な心の内を話すきっかけを与えてくださった先生方ありがとうございます。

今は、子供もノイローゼ気味も少しよくなり元気になったんですが、まだ電話のベルの音に“ビクッ”と震えたりしていますが前ほどではありまっせん。これから家族支え合って頑張っていきたいと思ひます。

日掛け金融による被害の実状(2)

～宮崎県の被害事例より～

① O氏 調理師 26歳

花屋をやっている叔母と実兄の保証人になっていたところ、叔母が営業不振から失踪し、同じ頃実兄も行方不明になった事により、双方の債権者より請求を受けるようになった。

債権者の一人である日掛け業者のエースクレジットから、職場に向かう途中に拉致され軟禁状態にして執拗に請求を受けた。どこからでも借りろと言われ、このままでは仕事にいけないと思い職場の上司に電話したら、上司が会社のお金を25万円(社長に無断で貸与したため後で職場で問題になった)流用させてもらいようや、開放された。

同じく大和クレジットは、エースに払ったのだから自分のところにも払えと職場や家に執拗に請求をするようになったので、困り果てて弁護士事務所に飛び込んできた。弁護士から大和クレジットに警告書を出して貸金業規制法違反であるとして不当な取立行為を止めさせた。

聞金融の江崎こと西本洋一は、弁護士からの手紙が届いていないと主張し、O氏の妻に支払うよう家に居座って請求したりしたので、電話で弁護士介入であるから取立をしないよう通告した。

O氏は現在破産申立の準備中である

② M氏 食品製造業社員 40歳

自営業をしていた頃日掛け御者数社より借り入れがある。

日掛けの希昇より借り入れをした際、動産を担保にするよういわれ、妻のパソコン一式を担保に入れた。妻と離婚した後でM氏が破産手続きを弁護士に委任したとたん、妻に対する執拗な催促が始まり、仕事上パソコンを引き揚げられたら困ると言うことで妻は銀行で借り入れを起こし支払った。10万円の借り入れに対し、質権にとった動産の価値は50万円をくだらない物であった。

また、M氏が弁護士に相談する前に、支払不能に陥ったM氏をエースクレジットは車に乗せて連れ回し、無理矢理保証人探しをさせた。M氏は車が赤信号で停車したとき、隙を見つけて車から飛び出し、危うく外の車に轢かれそうになりながら運良く逃げ切れた事があった。日掛け業者に追いつかれるので、離婚後は知人の家に隠れていた。

③ K氏 元古物商 70歳

病気で倒れてから、支払ができなくなり日掛けへの増額をした。その際、元従業員に保証人になってもらった。中でも日掛けの希昇は貸付の際保証人をつけさせるのと同時に、妻の家財道具や商品を担保に入れさせた。

元従業員は、K氏の店を辞めた後、パートをしていたが、日掛け業者の取立により辞めさせられた。その後も日掛け数社の保証分の取立により支払不能に陥り、現在破産準備中である。

K氏は破産手続準備中である

⑥ N氏一家 夫婦は代行業 母親は弁当屋
夫37歳 妻31歳 母親60歳

妻は2度目の破産

前回の妻の破産で夫が保証していた債務の支払のために借り入れが始まり、1回破産をしていることから、日掛け業者のみの借り入れとなり、合計24社から借り入れをしている。その際、保証人を1社につき5名多いところで7名つけさせられた。24社の内、主債務が1社で、他の8社は日掛け業者のところで知り合って保証人になって貰った人の保証債務である。

個人的な知り合いではない。支払不能になると、取立人がドアを激しくたたいたり大声を出したり、張り紙をしたりなどの嫌がらせをしたので、仕事を休み母親のところに身を寄せていたら、そこでも同様にされ、会社の社長の好意で会社の事務所に子ども2人（小学生と幼児）をつれ避難した。学校にも子どもを訪ねてきたりしたので、子どもは学校を休んでいた。

弁護士受任後は、保証人の一人より代弁を理由に返済をしつこく迫られる以外は業者の取立は止まった。